

小和田地区

回覧

安否確認訓練

令和6年6月23日（日）

安全表示のない家は
要救援者です！

震度7！激震発生、

逃げる前にブレーカーを落とせますか？

感震ブレーカーは、電気火災を防ぐ決定打です！

主催：小和田地区自治会連合会

本宿自治会、新宿自治会、赤松自治会、赤松町自治会、
菱沼小和田自治会、プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会

企画・立案：まちぢから協議会防災部会

地震発生直後取るべき行動

安全行動の1-2-3



地震発生！

まずは身の安全！

- あわてるな、落ち着け
- 高い家具から離れろ
- 出口を意識しろ

- あわてず、落ち着いて自分の身を守ります。
- 高い家具や大きな電化製品など、転倒の危険のあるものから離れます。

1～2分

揺れがおさまった！

津波や崖崩れのなどの二次災害に備え、危険があればすぐに避難！

- 火元を確認
- 家族は無事か
- 靴を履く
- 非常持出品

- 揺れが収まったら、火の元を確認します。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切ります。
- 家族の安全を確認します。
- ドアや窓を開けて出口を確保します。
- 非常用持出品を準備します。
- 二次災害の恐れがある場合は速やかに避難します。

3分

余震に注意！

隣近所、地域の状況は大丈夫か？

- 大声で知らせろ
- 消火器を使え
- 近くの人と協力
- バケツリレー

- 大声で知らせ、近所の人同士で協力します。
- 避難行動要支援者などへの積極的な声かけ、安否確認をします。
- 出火防止の声かけを行います。
- 火災が発生していたら消火活動を行います。
- 要救助者の救助・救出活動を行います。

5～10分

災害情報を集めろ！

- ラジオをつけろ
- 市や地域の情報を確認
- 電話はなるべく使わない
- ※緊急連絡を優先

安否情報は伝言ダイヤル171へ

- ラジオなどで情報を確認します。
- 間違った情報などに惑わされないように、正確に地域内の被災情報を収集します。
- 近隣や身近な地域で、消火や救出活動を行うとともに、地域活動拠点や災害対策地区防災拠点から必要な情報を収集します。

- 津波、土砂災害などの危険が生じるおそれがあるときは、地域住民に避難の必要性を呼びかけるとともに、率先して避難します。
- 避難の際は、ガスの元栓を閉め電気のブレーカーを遮断するなど、出火防止に努めます。
- 避難の際は、車やバイク等の使用は避け、徒歩での避難を呼びかけるとともに、安全な避難経路に誘導します。
- 余震に注意し、倒壊の危険がある建物やブロック塀には近寄らないよう注意します。